

二十歳の決意

二十歳になって



高橋孝行さん
(新井)

現在、親元を離れて静岡で一人暮らしをしています。新しい環境で生活を始めて「家族のありがたみ」がよくわかりました。また大学に入学した時の、友だちができるまで本当に不安でした。

た。改めて友達の大切さに気づきました。
大学生活も2年目が終わり、卒業研究や就職のこともそろそろ考えていかなければいけないとは思いますが、私は「今だからできること」をがんばりたいです。様々なことを学び経験し、それを自分のものにしていけたら、将来の視野も広がってくると 생각합니다。
私達の未来は白紙であり、何を描くかは私達自身によります。あせらず、じっくりお互い納得いくものが描けるようにがんばりましょう。

二十歳の決意



越川 親さん
(古屋)

これまでの20年間を振り返ってみると、様々な思い出や経験、多くの人との出会いがありました。私は友達を作ったり、人と接することがあまり上手くありませんが、良き友達や恩師に支えられて

今日まで頑張ることができたと思います。
野球を始めて12年になりますが、小さい頃からプロ野球に憧れ、今もその気持ちは変わりません。現在も大学で野球を続け、毎日練習に励んでいます。去年は社会人野球の練習に参加し、嬉しかった反面、好きな野球を職業にすることの難しさや、努力の少なさを痛感させられた年でもありました。
今年は、二十歳という節目を迎え、責任と自覚を強く持ち、自分の夢に向かって、悔いの残らないよう努力していきたいと思っています。



二十歳



布施和純さん
(富下)

私は去年の夏に、町の主催で行われた青少年海外視察研修に参加し、マレーシア、シンガポールのボランティア団体や高校などを視察しました。この経験をもとに、二十歳になった自分を改めて振

り返ると、人間的に急激な成長をしたわけではないのですが、体は間違いなく大きくなっています。周囲からは大人になったと思われる。このギャップをなめるべく無くそうと頑張っています。海外視察研修でも他国や他人の良さに気づいたように、自分は周囲の人の良いところを見つけ、それをどんどん吸収していけば、自分なりに成長していけるのではないかと思います。焦らずゆっくりした自分のペースで「まあ、いいか。」の精神を持って頑張っていこうと思っています。

成人を迎えて



菅原和美さん
(尾垂五区)

毎日が楽しく充実した3年間を送った母校、光中学校もすっかり新しくなり、まばゆいばかりです。高校卒業後、小さい頃からの夢を追いかけて専門学校へと進んだ私ですが、東京での暮らしにつまづ

き、故郷へ戻り、片道3時間の通学を始めました。そんな私を力づけてくれたのは、あの頃と変わらぬ笑顔の友達であり、また、私のわがままを何も言わずに受け止めてくれた両親でした。春には私も社会人となり再び親元を離れ、自分の力で生活していかなければなりません。これから、辛いことや悩むこともあると思いますが、大好きな故郷やかけがえのない友達に支えられ、乗り越えていけると信じています。そして、私も少しずつ、誰かの役に立てるように成長していきたいと思っています。